

当院で経皮的冠動脈形成術を施行された経験のある 患者さんまたはご家族の方へ (臨床研究に関する説明)

北里大学病院循環器内科では、光干渉断層撮影を用いて経皮的冠動脈形成術により治療を行われた方の診療情報(カルテ情報)を使用して臨床研究を実施しております。この研究を実施することによる患者さんへの新たな負担は一切ありません。また患者さんのプライバシー保護については最善を尽くします。本研究の研究対象となることを望まれない患者さん及びご家族は、循環器内科外来までご連絡をお願いします。本研究の調査の対象となることを拒否した場合でも不利益はありません。

【研究課題名】 光干渉断層法を使用した冠動脈疾患患者におけるエイコサペンタエン酸値、アラキドン酸値と冠動脈プラーク性状の関心の検討

【研究の目的】 エイコサペンタエン酸 (eicosapentaenoic acid : EPA) / アラキドン酸 (arachidonic acid : AA) 比が低いことは心血管イベントの危険因子であることが示されています。さらにスタチンによる LDL コレステロール低下療法を行われている患者においても、EPA/AA 比が低いことは心疾患による死亡を予測するものであることが示されました。しかし、低い EPA/AA 比が冠動脈プラークに与える影響についての詳細な検討は十分になされていません。そこで本研究では、光干渉断層撮影を使用し、冠動脈プラーク性状と EPA/AA 比との関係を詳細に解析し検討します。

【対象となる方】 2012年1月1日～2020年12月31日に当院で新規病変に対して待機的に光干渉断層撮影を用いて心臓カテーテル治療をされた方。

【使用する診療情報】 カルテ情報：診断名、年齢、性別、身体所見、血液検査、内服治療、既往歴、心臓超音波検査、頸動脈超音波検査、ABPI 検査、心臓カテーテル治療内容。なお、取得した診療情報については二次利用する可能性があります。その際は、あらためて倫理審査委員会で審査を受けます。

【個人情報の保護】 利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを特定出来る個人情報は削除して使用いたします。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は公表いたしません。

【当院研究責任者】 北里大学病院 循環器内科 南 尚賢 (ミナミ ヨシノブ) 診療講師

【問い合わせ先】 北里大学病院 循環器内科 朝倉 清史 (アスカ キヨシ)

神奈川県相模原市南区北里 1-15-1 TEL:042-778-8111 FAX:042-778-9371